



5月21日(木)
「熱中すれば自ら育つ」
 講師 エール株式会社 安田式体育遊び研究所
 研修指導員 杉島 秀政 さん



子どもたちは、杉島さんの世界にどんどん引き込まれ、熱中して行きます。「できた!!」「もっとやりたい!!」の声があふれていました。

講義では、参観を見せていただいた内容についての具体的に教えていただきました。

～こどもが熱中するポイント～

- こどもの心拍に合う動きとなる声かけをする
- 必要の充足より満足の充足が先
- 興味関心、共感性を引き出す環境設定。仲間の活動を観られないような待ち方はさせない
- 遊びの発展性への期待感を演出。「ホップ・ステップ・ジャンプ」の法則
 「ホップ」たやすく遊びこめる遊び→「ステップ」熱中して遊び続ける遊び→「ジャンプ」遊びを発展させる
- 並ばせ過ぎない。座らせ過ぎない。説明し過ぎない。
- 興味関心(楽しそう・やりたい)→体験(楽しい)→体感(できそう)→体得(出来た)
- 遊びの中で目当を持って並べるように。テンポ良く「集まる・待つ(聞く)・並ぶ」の法則



感想

☆見ている、やってみてもとても楽しく笑顔になれました。この”楽しい””またやってみよう”という気持ちを子どもたちや先生たちと共有していきたいです。
 ☆クラスのつながりは、一人一人を大切にすることが土台であると改めて感じました。子どもとハイタッチをしたり、一緒に”楽しい”を共有したりしていきたいです。
 ☆毎日の遊びに取り入れ、ケガをしにくい体作りをしていきたいと思えます。
 ☆これまで前回りや逆上がりなどできるようになることを目的にしていたのですが、そこに至るまでの過程を楽しみながら遊びに取り入れ、進めていこうと思えます。

